

Program
プログラム

芥川也寸志：弦楽のための三楽章（トリプティーク）

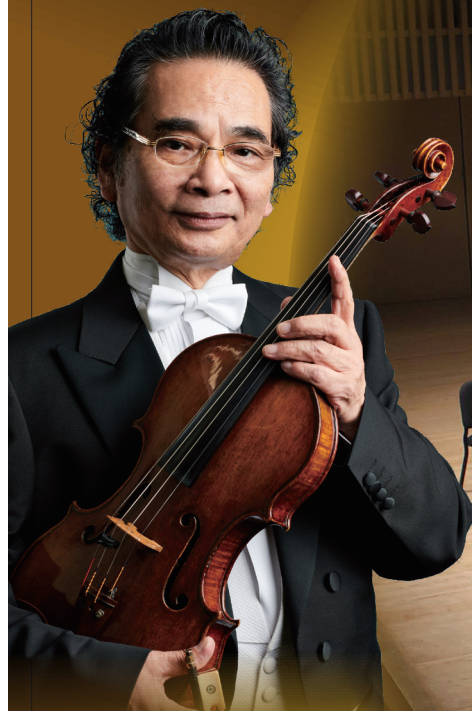
Yasushi Akutagawa：TRIPTYQUE for String Orchestra

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K364

Mozart：Sinfonia concertante for Violin, Viola and Orchestra K364

ブラームス：弦楽五重奏曲第2番 ト長調 作品111（弦楽合奏版）

Brahms：String Quintett No.2 Op.111



ヴィオラ

©平館平

店村 眞積



一音寺 室内合奏団 演奏会2024

2024

6.29 土 19:00開演
(18:30開場)

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

地下鉄烏丸線 北山駅下車、①番または③番出口 南へ徒歩5分

※未就学児の入場は、ご遠慮ください。



音楽監督・コンサートマスター

双紙 正哉

チケット取り扱い

京都コンサートホール TEL.075-711-3231
ロームシアター京都 TEL.075-746-3201
エラート音楽事務所 TEL.075-751-0617

入場料(全席自由) ¥3,000

【主催】一音寺室内合奏団

【後援】宗教法人一音寺

【お問合せ】エラート音楽事務所 TEL.075-751-0617

Itionzi Chamber Orchestra

一音寺室内合奏団

ごあいさつ

団長 壁瀬宥雅

1996年10月に設立された一音寺室内合奏団は、京都の聴衆の皆様のご支援により、28年目のコンサートを開催することになりました。

今年はヴァイオリン界の大御所である店村眞積氏をお迎えし、モーツァルトのヴァイオリンとヴァイオラのための協奏交響曲（シンフォニー・コンチェルト）を演奏いたします。ヴァイオリン独奏は音楽監督の双紙正哉氏です。店村氏は、桐朋学園大学からイタリアに留学され、ジュネーヴ国際音楽コンクール2位入賞、帰国後は読響ソロ・ヴィオリスト、N響ソロ首席ヴァイオラ奏者、東京都交響楽団特任首席、京都市交響楽団ソロ首席、サイトウ・キネン・オーケストラメンバーなど、すべての主要ポストを歴任されたヴァイオラ奏者であり、また、教育者として積極的に後進の育成にもあたられ、多くの弦楽器奏者から多大なる尊敬を集めておられます。個人的には、店村氏と私は同志社中学校での同級生であり、今回はほぼ半世紀ぶりに共演できることを私自身楽しみにしています。

本日の演奏会では、ブラームスの「弦楽五重奏曲第2番」を20年ぶりに取り上げます。この曲はウィーン風の明るい中にもブラームスの厭世観も感じられる奥深い曲です。晩年のブラームスの充実した力作を、芥川也寸志の「トリプティック」と共にお楽しみください。

双紙 正哉 音楽監督・コンサートマスター

桐朋学園大学卒業。篠崎永育、徳永二男の両氏に師事。1984年北九州音楽コンクール小学生の部第1位入賞、併せて文部大臣賞受賞。1986年全日本学生音楽コンクール中学生の部西日本大会第1位入賞。大学在学中より広島交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団のゲストコンサートマスターを度々務める。1995年22歳の若さで東京交響楽団のアシスタント・コンサートマスターに就任。1997年にはアソシエイト・コンサートマスターとなる。1998年退団後はソロ、室内楽を中心に活躍。1998年4月NHKのFMリサイタルに出演。室内楽ではJTアートホール室内楽シリーズに度々出演する他、ストリング・クアルテット「Arco」、ストリング・アンサンブル・ヴェガのメンバーも務める。2004年北九州市民文化奨励賞受賞。2005年5月より東京都交響楽団首席奏者に就任し現在に至る。

店村 眞積 ヴィオラ独奏

京都生まれ。日本音楽コンクールなど入賞歴を重ね、桐朋学園大学を経て、1976年イタリアに渡り、ピエロ・ファルツリに師事。その後リカルド・ムーティに認められ、フィレンツェ市立歌劇場の首席ヴァイオラ奏者となる。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクール第2位。以後ヨーロッパ各地でソリストおよび室内楽奏者としても活躍。フィエーゾ音楽祭、ジュネーヴ音楽祭など多くの音楽祭に招かれた。1984年に帰国、同年から読響ソロ・ヴィオリスト、2001年からN響ソロ首席ヴァイオラ奏者を歴任。一方、ソリストとして読響、N響、東京フィル、札幌、パイナル室内管などと共演。サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管のメンバーを務めた。さらに「ヴィオラ・スペース」への出演をはじめ、日本を代表するヴァイオラ奏者として、室内楽やソロの分野でも幅広い活動を展開、CDも数多くリリースしている。2011年6月、都響ヴァイオラ特任首席奏者に就任。東京音楽大学客員教授。第30回有馬賞を受賞、令和2年度京都市文化功労者表彰を受けた。2024年2月22・23日、エリアフ・インバル指揮によるマーラーの交響曲第10番で、都響ヴァイオラ特任首席奏者としてのラスト・ステージを迎えた。2024年4月、都響ヴァイオラ名誉首席奏者に就任。

メンバーリスト ※：首席奏者 ♪：客演

音楽監督・コンサートマスター	双紙 正哉
ヴァイオラ独奏	店村 眞積
ゲストヴィオリスト	篠崎 友美（東京都交響楽団首席奏者）
ヴァイオリンI	井口 貴文、圓城めぐ美、妹尾 俊吾、田崎 祐成、中村 亜季※、村上 佐知子
ヴァイオリンII	内田 都加、壁瀬 智泉、高木 玲、南部 史、前川 和響、前川 信幸※、村山 直
ヴァイオラ	佐々木 弘明※、佐々木 めぐみ、里上 三保子、田中 春美、前川 萌香
チェロ	壁瀬 宥雅※、里上 直衛、森田 健二、米原 徹
コントラバス	江刺 豊※♪